【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和4年10月12日(2022.10.12)

【公開番号】特開2021-85439(P2021-85439A)
【公開日】令和3年6月3日(2021.6.3)
【年通号数】公開・登録公報2021-025
【出願番号】特願2019-213414(P2019-213414)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｌ 59/147(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 7/027(2019.01)
Ｂ３２Ｂ 3/12(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｌ 59/147
Ｂ３２Ｂ 7/027
Ｂ３２Ｂ 3/12 Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月3日(2022.10.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一の壁部と該一の壁部と対向する他の壁部との間の空間領域に網目状に設けられ、該空間領域を前記他の壁部側から前記一の壁部側にかけて複数の区画空間に区画する複数の区画部材と、
前記一の壁部を支持するように設けられ、前記複数の区画空間のうち前記一の壁部に面する区画空間を前記一の壁部側へ向かうにつれて段階的に細かくなるように細分する複数の細分部材と、
を備える断熱構造。
【請求項２】
前記複数の区画部材における水平面に対する傾斜角度は４５°以上である請求項１に記載の断熱構造。
【請求項３】
一の壁部と、
該一の壁部と対向する他の壁部と、
前記一の壁部と前記他の壁部との間の空間領域に設けられる請求項１又は請求項２に記載の断熱構造と、を備え、
前記一の壁部、前記他の壁部、又は前記断熱構造は、繊維強化材料で形成されており、
該繊維強化材料は、配向を特定方向に揃えた繊維を含む断熱体。
【請求項４】
中実な繊維強化材料で形成され、
該繊維強化材料は、配向を特定方向に揃えた繊維を含む断熱体。
【請求項５】
複数の区画部材を、一の壁部と該一の壁部と対向する他の壁部との間の空間領域に網目状に設け、該空間領域を前記他の壁部側から前記一の壁部側にかけて複数の区画空間に区画する区画工程と、

複数の細分部材を、前記複数の区画空間のうち前記一の壁部に面する区画空間に前記一の壁部を支持するように設け、前記一の壁部に面する区画空間を前記一の壁部側へ向かうにつれて段階的に細かくなるように細分する細分工程と、
を有する断熱構造の製造方法。
【請求項６】
前記区画工程において、前記複数の区画部材における水平面に対する傾斜角度を４５°以上とする請求項５に記載の断熱構造の製造方法。
【請求項７】
一の壁部と、該一の壁部と対向する他の壁部と、前記一の壁部と前記他の壁部との間の空間領域に設けられる請求項１又は請求項２に記載の断熱構造と、を備える断熱体の製造方法において、
前記一の壁部、前記他の壁部、及び前記断熱構造を、一体で製造する断熱体の製造方法。
【請求項８】
一の壁部と、該一の壁部と対向する他の壁部と、前記一の壁部と前記他の壁部との間の空間領域に設けられる請求項１又は請求項２に記載の断熱構造と、を備える断熱体の製造方法において、
前記一の壁部、前記他の壁部、又は前記断熱構造を、配向を特定方向に揃えた繊維を含む繊維強化材料で形成する工程を有する断熱体の製造方法。
【請求項９】
配向を特定方向に揃えた繊維を含む中実な繊維強化材料で形成する工程を有する断熱体の製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５１】
〔断熱体の製造方法〕
次に、本実施形態に係る断熱体の製造方法について説明する。
なお、以下では、図５Ａに示す配管６１を製造する場合を一例として説明するが、これに限定されない。